

らず、一切それに關ることとは述べられていない。

二のサンブルに対する取扱いの態度は、歴史的な時間の取扱い方に於いても同じである。

明治23年の事柄について述べる場合

(185ページ)なぜそれが明治23年でなければいけないかの説明がない。明治23年以後の事柄について説明するのに、明治21年以前の資料を出して平氣である。普通なら「明治21年以前の資料しかないのですが」と

かなんとか、ひとこと説明するものである。その説明がなければ、読者は明治21年の資料を、「スラムが形成された」と大歎氏が言う明治23年以後の資料として無視して読みことになる。

「そのような事はどうでも良い」と大歎氏が考へてゐるのならそれで良いけれども、なにしろ、言葉の使い方が大きさなので、読者の方には、大歎氏のペースに追いつかれて、「歴史的形成過程についてなどと、も

のものしない書きをする者が現られ、中味のない言葉だけのやり取りになる。

もうひとつ例をあげる。

「大歎氏のやうは、これが一番古い時代だ」とか、丁度考へてもこれが最も古い時代であるとか、なんとかの説明が必要である。

「もともと大阪のスラムの歴史は古く、すなはち嘉慶17年（1812年）の一篇に於いても、大歎氏は、なぜ嘉慶17年が問題であるかを云ふと言も説明してない。例えば「それは、

歴史的時間の中から生産にとりだして一時期である」とか、「私の議論

（次頁に、編者、大歎氏一氏の本に

つけての自己弁護を掲載）

「夏の騒動」から20年  
多くの人は、昭和三十六  
年夏の大坂・益々騒動を  
忘れてはいるかも知れない  
が、あれからもう二十年を  
経過した。益々騒は現在、  
公式的には「あいりん地区」と  
呼ばれている。呼び

名は変わったが、しかしド  
ヤ街スマムという実態は今  
でも変わっていない。  
一方で、世界一、二の豪  
華成長を誇る事がな日本社  
会の中に、このようなスマ  
ムが存在することは許せな  
いといつ建前論がある。被  
方、人間は自由で、開手気  
ままに暮らしたいという欲  
望があり、その結果として  
スマムに落ち込むのは当然  
の成り行きだという本音論  
がある。あいりん地区は、  
それ双方の言い分が当た  
っている点が多い。非常に  
複雑で、不思議な社会にみ  
える。その実態は日頃の被  
者生活にあらわれる次の四つ  
の現象として察する事で  
みてよい。

### 別世界とはいえぬ

先ず、彼らは「『からぬ  
を入れ、ボケットから金を  
出す』と『ポン』といふ  
と、飲み屋のある『はま』、  
と、そこへ出て、そんな

人が少しあるのである。し  
なりある。しかし、あいりん  
二種を取寄せるから取

てしかみない。彼らの仕事  
は派遣業者の内体労働であ  
る。派遣結果によると、職  
業引合せとなり、そう  
なると、被者があるから、こ  
こは決して別世界ではない。  
あいりん人生と普通人  
は、同じく派遣業者をして、人間  
関係に家族を置いて、一人經  
済で、世界一、二の豪  
華成長を誇る事がな日本社  
会への活力を發揮する不可欠の  
力である。パチンコも、  
神羅古戦場をほぐす機能が  
人生とは裏り合いで、重  
い者から軽い者となり合っているといつ  
ある。だから他の通りと  
八六九の者が人間関係を失  
つて、深い孤独の谷間に暮  
らしている。彼らがそれを

## 著者は語る

大 藤 寿一



人間關係を失つて、酒やパチンコでドヤと呼ぶ  
つぎには出稼ぎが長時間になるのを賣ることはでき  
なく、都市型産業の変動と、彼らのヤドをドヤと呼ぶ  
深く結びついた日本全体に、が、ドヤは普通の一階分の  
関連した経済・社会的問題であり、その根本的問題解  
決がなさるべきである。また、そのいつた建前論的施策  
とともに、彼らが人間らしい生き方を、自ら探し求め  
る希望がもてるようだ。彼らを生々しく躍り立てる  
ひたりとなつて、だれかが「何か」をつくり出してゆ  
外部から今日もこの地区に流れ込んでいるかもしれない  
。私が被者このレポートでの現状を示したかった  
のである。(大阪市立大学)

### 「あいりん人生追跡調査試

#### 百三十頁に、渡せ、三十二

号十八頁からの引用として  
「日雇労働者は、日々雇

い入られ、勞働した日、

又は、時間によつて、賃金

を、算定され、その支払い

を受ける者を云う。ただし、

継続して、それが月以上同一

の使用者に雇用されるに至

つたものを除く。」の一文

## 深い孤独の谷間から

益性是非常に高い。経営者からみると、彼らは現金払いで泊まるだけの、一晩無趣の眠り人形。に見え、泊まる側にならぬるトヤは家く、夏は蒸し暑く、冬は冷え込み、寒心地が悪い。酒の一杯もひかげないと寝つけないのである。

### 「使い捨て」の扱い

日本の労働法では保安を確立するが、就労は法である。ここでは服装や髪や手、居住環境の改善は、その市場で彼らは使い捨て例にアル中が多いと批判されている。どうも厚生省日曜医学書によれば「酒を一滴飲む」は幻想社(大阪市大王寺区味原町四之一、味原三光ビル六〇三)刊、一千五百円。

## 誤用に抗議する 労務者渡世編集委員会

### 引用に誤用する

労務者渡世編集委員会

が掲載されていくが、渡せ

三十二号十八頁には引手録きく昭和  
54年4月現在、源泉徴収税額表と給

与所得、退職所得の源泉徴収より、

と書かれており、あえて渡せからの  
引用としてこの部分を掲載する必要  
がなればかりでなく、日雇労働者の

定義として渡世編集委がこの一文を

誤引用に抗議すること共に、百四十  
六頁の引用文献の(1)として記載され  
てゐる「労務者渡世」の名前の削除  
を要求する。

いる。

考へ出したかのよくな誤解をまぬく  
しかも、渡せかぐの引用といつても  
あぶない、全く、不定性、單純  
に雇労務者が日雇労働者とみなすゆ  
けたり、句読点の付不足し、カッ  
コの省略などで、渡せに掲載せめた

二百六十五頁)

ヤジ馬

ものは大部ちがつたものになつて  
いる。